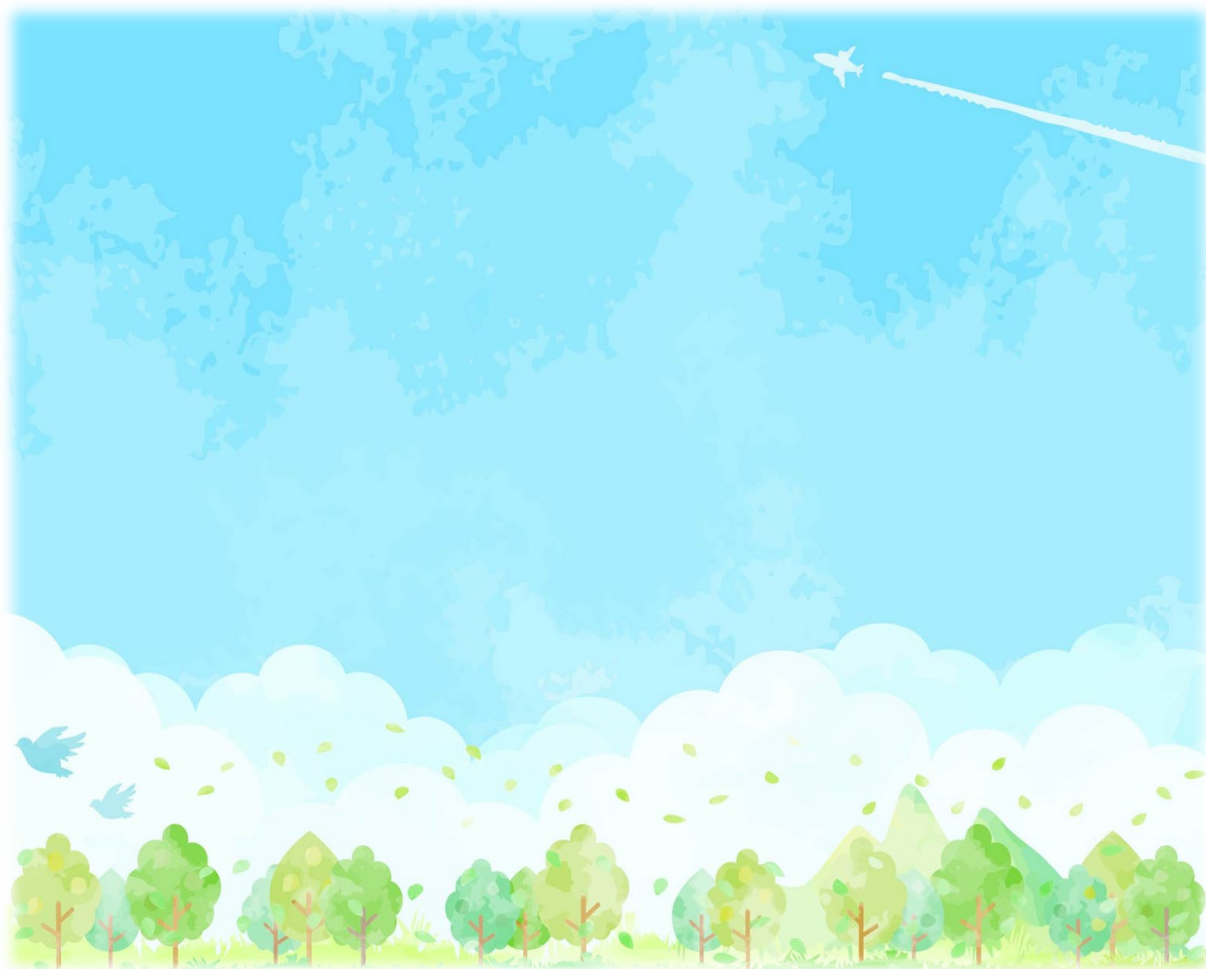


2023年度版 環境経営レポート



取組期間 2023年10月～2024年9月
2024年12月 5日発行



西部環境 株式会社

目次

環境経営方針	1
1. 組織の概要	2
2. 実施体制	3
3. 環境経営目標と実績 【事務所】	4～6
4. 環境経営計画及びその取組結果と評価 【事務所】	7
5. 環境経営目標と実績 【建設現場】	8～9
6. 環境経営計画及びその取組結果と評価 【建設現場】	9～10
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認 【事務所・建設現場】 及び評価並びに違反、訴訟などの有無	11
8. 代表者による全体の評価と見直しの結果 【事務所・建設現場】	11
9. 次年度の環境経営目標と環境経営計画	12

環境経営方針

<基本理念>

林土木工業株式会社のグループ会社の一員として
当社は、建設業を通じ、環境に与える影響、及び環境保全の重要性を認識し、
地球の環境を永遠に守り続けるため、地域に密着した貢献活動を行うと共に
環境負荷の削減を目指して、環境経営の継続的な改善活動を行ってまいります。

<行動指針>

1. 環境負荷の削減のため、以下の取組を行います。
 - (1). 使用エネルギー（電気・ガス・燃料など）の削減に努めます。
 - (2). 産業廃棄物の適正処理と建設資材のリサイクルの推進に努めます。
 - (3). 事務所及び工事現場での節水に努めます。
 - (4). 建設機械使用に伴う騒音・振動の低減に努めます。
 - (5). 環境に配慮した排出ガス対策型の機械使用に努めます。
 - (6). グリーン資材の調達の促進に努めます。
 - (7). 工事現場での塗料等化学物質の適正管理に努めます。
2. 地域貢献活動の実施。
 - (1). 事務所周辺での清掃・美化活動に努めます。
 - (2). 現場周辺での清掃・美化活動に努めます。
 - (3). 行政機関等が実施する環境保全活動に協力します。
3. 環境保全のための環境関連法規その他の要求事項を遵守します。
4. 環境保全活動を維持・推進していくため、社員一人一人が環境に対する意識を高めるための環境教育を行います。
5. 環境経営レポートを作成し、環境保全活動の内容を一般に公表します。



制定 2008年10月 1日
改訂 2024年 9月 9日

西部環境 株式会社
代表取締役 山口 悟

1. 組織の概要

事業所名 代表者名	西部環境 株式会社 代表取締役 山口 悟
所在地	〒819-0037 福岡市西区大字飯盛426番地5-103 TEL 092-811-1764 FAX 092-811-1485
事業内容	土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業 舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業
認証登録範囲	対象範囲 全組織 事業活動 土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業 舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業
環境管理責任者	嶋田 和幸 E-mail simada@seibukankyo21.co.jp
会社設立	1980年6月

事業規模

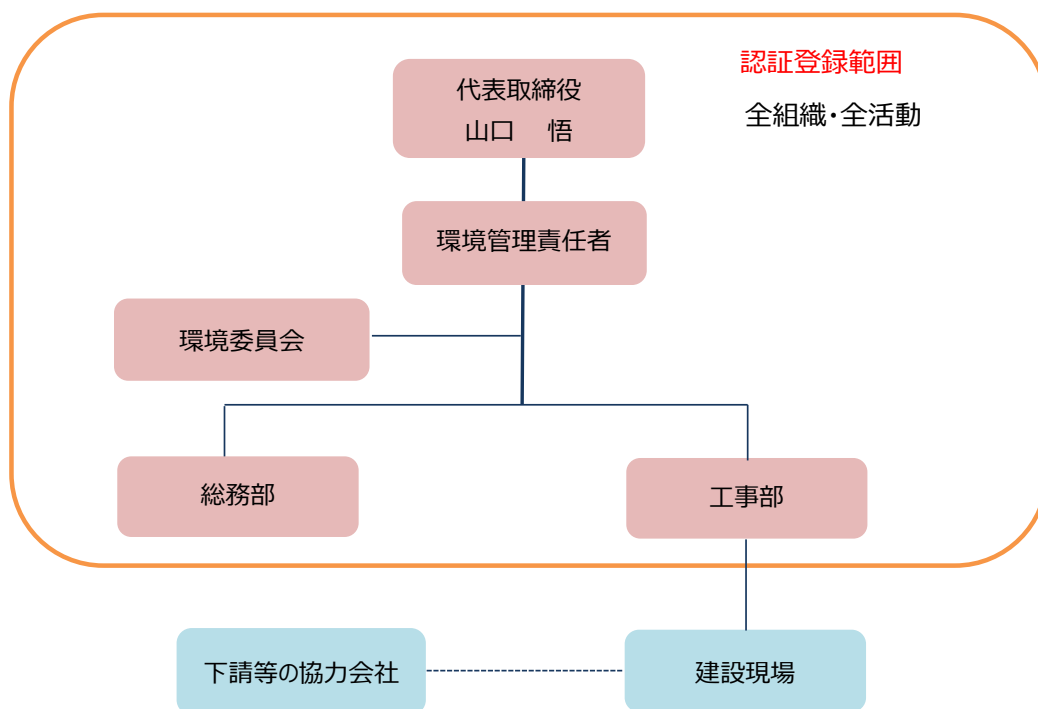
	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
完工高	百万円	167	274	251	154
従業員数	人	6	7	7	7

事業年度 10月～翌年9月

会社沿革

1980年6月	資本金500万円にて法人設立
2005年7月	資本金3000万円に増資
2008年9月	ISO9001:2000認証取得
2009年6月	エコアクション21 認証取得
2011年9月	福岡県知事許可番号(特-23)第52606号登録(更新)
2015年4月	現在地へ事務所移転
2016年9月	福岡県知事許可番号(特-28)第52606号登録(更新)
2021年9月	福岡県知事許可番号(特- 3)第52606号登録(更新)

2. 実施体制



← 指示・協力・教育等

役割分担

管 轄	役割・責任・権限
代表取締役	全体の掌握 経営における課題とチャンスの明確化 必要な資源(人・物・金)の確保 評価・見直しを含むアウトプット
環境管理責任者	エコアクション21の運営の統括 運用状況の社長への報告 環境委員会の招集
総務部(事務局)	関連文書の管理 データの収集と数値管理 環境経営記録の作成
工事部	作業現場の全体的な管理 現場従業員への周知・徹底 データの収集と数値管理
現場代理人	各工事現場の環境経営計画の統括 現場環境の地域への調和
環境委員会	年1回以上開催し、メンバーは全従業員とする 環境経営計画の報告 今後の環境経営計画の確認 社長による評価・見直しの検討・指示
全従業員	環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

3. 環境経営目標と実績 【事務所】

3.1 環境経営目標

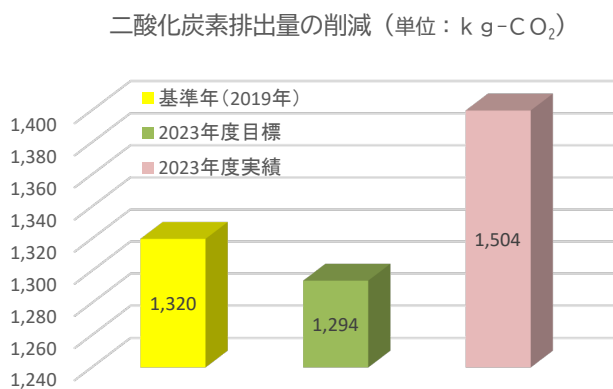
環境経営目標	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		基準値	(20年10月～ 21年9月)	(21年10月～ 22年9月)	(22年10月～ 23年9月)	(23年10月～ 24年9月)	(24年10月～ 25年9月)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ / 年	1,320	1%削減 1,307	1%削減 1,307	1.5%削減 1,300	2%削減 1,294	2.5%削減 1,287
電気使用量	kWh / 年	3,805	1%削減 3,767	1%削減 3,767	1.5%削減 3,748	2%削減 3,729	2.5%削減 3,710
水使用量	m ³ / 年	7.1	1%削減 7.0	1%削減 7.0	1.5%削減 6.99	2%削減 6.96	2.5%削減 6.92
地域貢献活動の実施	定期的に事務所周辺の清掃を努力目標として行います。						

* 電力の二酸化炭素排出係数は、2018年度九州電力調整後排出係数: 0.347kg-CO₂/kWhを使用

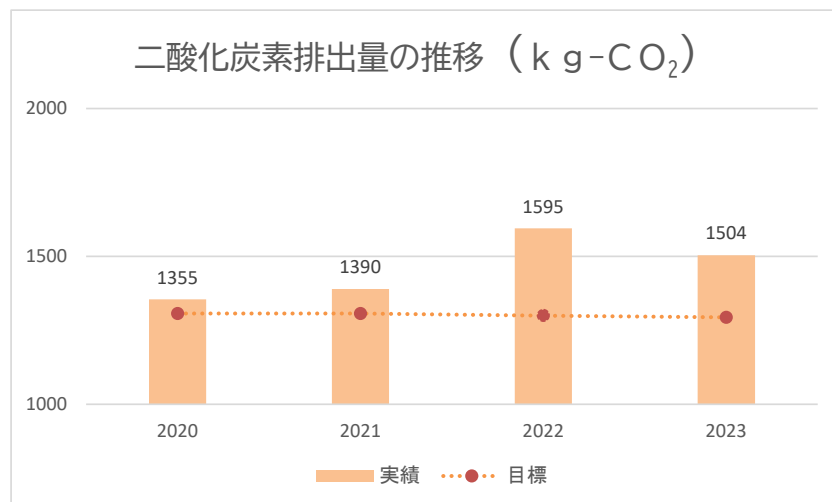
3.2 実 績

(1) 二酸化炭素排出量の削減

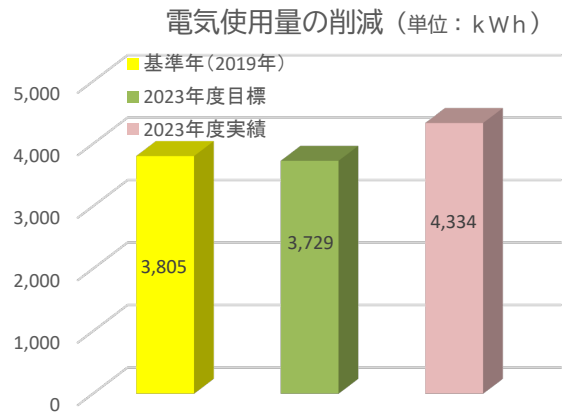
【数値目標】



二酸化炭素排出量の削減		
基準年 2019年度	2023年度目標	2023年度実績
1,320	1,294	1,504
目標対比	達成率	達成状況
↑	86%	×

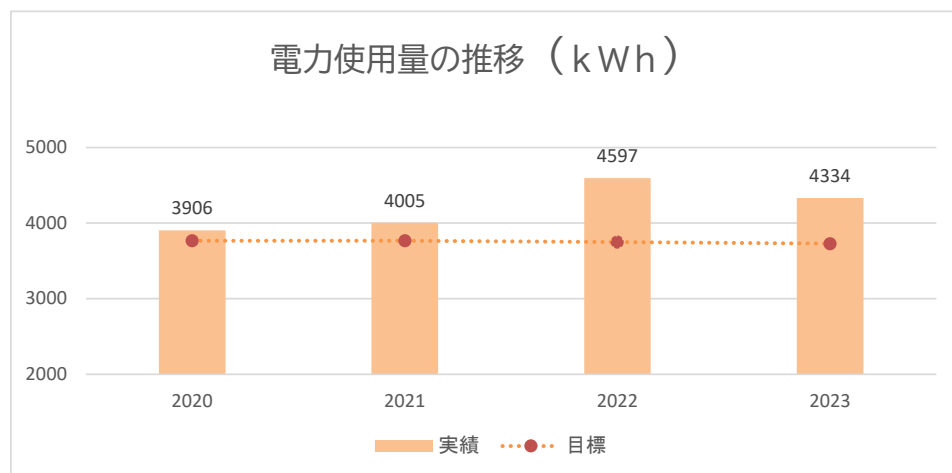


(2)電気使用量の削減

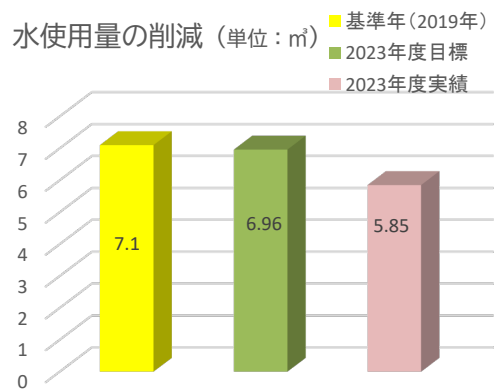


【数値目標】

電気使用量の削減		
基準年 2019年度	2023年度目標	2023年度実績
3,805	3,729	4,334
目標対比	達成率	達成状況
↑	86%	×

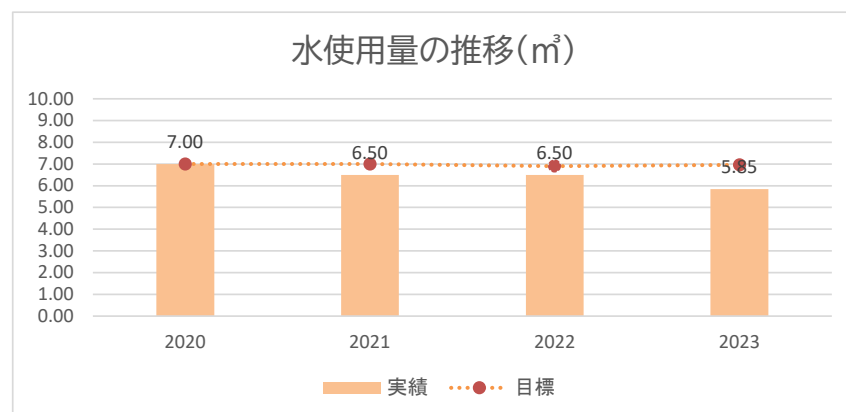


(3)水使用量の削減



【数値目標】

水使用量の削減		
基準年 2019年度	2023年度目標	2023年度実績
7.1	6.96	5.85
目標対比	達成率	達成状況
↓	119%	○



【努力目標】



グリーン購入

グリーン製品の使用促進	環境に優しい商品を購入して少しでも環境保護に役立てるようにした。
-------------	----------------------------------



地域貢献活動の実施

周辺の環境美化への貢献	会社周りのゴミ拾いを毎日行った。
-------------	------------------



一般廃棄物排出量の削減

ゴミ・紙類の排出量削減	無駄なコピーやミスプリントを減らすなど削減に取り組んできた。
-------------	--------------------------------

目標対比	↓ 下がった	↑ 上がった	≡ 変わらない
達成状況	○ 達成できた	× 達成できなかった	— 判定できない、該当しない

(注)

事務所のグリーン購入・地域貢献活動・一般廃棄物についての数値目標はなし。
ただし、努力目標として目標設定をしている。

4. 環境経営計画及びその取組結果と評価 【事務所】

4.1 環境経営計画とその取組結果と評価 期間：2023/10～2024/9 評価日：10月7日

	活動項目	取組評価	判定
数値目標	電気使用量2.0%削減		
	・余分な場所の電気を消灯する ・夏休みは消灯する ・退社時は消し忘れをしない ・パソコンは退社時に電源を切る ・夏場・冬場のエアコンの適正温度管理	長時間の離席時はパソコンの電源オフを徹底した。エアコンの温度は適正温度に設定した。	
	水使用量2.0%削減		
	・水の出っぱなしをしない ・洗車は最小限の水量使用 ・散水は最小限の水量使用	水を使用する際には必要最低限で済むように工夫して使用した。	
	グリーン購入の推進 グリーン製品の使用促進		
	・エコマーク商品の優先購入 ・商品買い替え時のエコ商品の検討	エコ商品の購入が定着している。	
努力目標	地域貢献活動の実施 環境美化の貢献		
	・事務所周辺のゴミ拾い ・事務所周辺の除草作業	事務所周辺の清掃活動を実施できた。	
	一般廃棄物排出量削減		
	・ゴミは必ず分別の上排出する ・コピーリセットによるミスプリント防止 ・ペットボトル、アルミ缶は再生資源処理	ペットボトル、アルミ缶は分別し再生資源処理した。	
	ゴミ・紙類排出量削減		
	・社内で使用する紙は原則裏紙で ・電子メールなどの受発信励行	社内書類は裏紙で使用し、役所とのやり取りはメールやクラウドで利用した。	

5. 環境経営目標と実績 【建設現場】

5.1 環境経営目標

環境経営目標	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		基準値	(20年10月～ 21年9月)	(21年10月～ 22年9月)	(22年10月～ 23年9月)	(23年10月～ 24年9月)	(24年10月～ 25年9月)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ ／ 100万円	92.0	1%削減 91.0	1%削減 91.0	1.5%削減 90.6	2%削減 90.2	2.5%削減 89.7
建設廃棄物のリサイクル率	%	95以上	95以上	95以上	95以上	95以上	95以上
建設発生土のリサイクル率	%	95以上	95以上	95以上	95以上	95以上	95以上
騒音・振動・排ガスの低減（機械使用率）	%	100	100	100	100	100	100
グリーン資材調達の促進	設計仕様外での調達品目は数値管理が困難なため、当面努力目標としての調達増進を図ります。						
化学物質の適正管理	使用頻度、数量もごく限られ、また数値管理が困難なため、努力目標としての適正管理を図ります。						

* 電力の二酸化炭素排出係数は、2018年度九州電力調整後排出係数:0.347kg-CO₂/kWhを使用

5.2 実績

環境経営目標	単位	2019年度	2023年度	2023年度	達成度	達成状況
		基準値	目標:2%削減	実績		

【数値目標】

二酸化炭素排出量の2%削減

二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	15,366	15,059	32,391	↑	×
	kg-CO ₂ ／ 100万円	92.0	90.2	210.0	↑	×
電気使用量	kWh	193	189	338	↑	×
ガソリン使用量	ℓ	1,371	1,344	1,599	↑	×
軽油使用量	ℓ	4,697	4,603	11,071	↑	×

建設廃棄物のリサイクル率95%

コンクリート塊	%	95%	95%	100%	105%	○
アスファルトコンクリート塊	%	95%	95%	100%	105%	○

建設発生土のリサイクル率95%

発生土	%	95%	95%	98%	103%	○
-----	---	-----	-----	-----	------	---

低騒音・低振動・排出ガス対策型の機械使用率100%

低騒音・低振動型使用	%	100%	100%	100%	100%	○
排出ガス対策型使用	%	100%	100%	100%	100%	○

【努力目標】



グリーン資材の調達の促進

再生材の使用の増進	設計仕様外での道具類の調達時にはエコマーク商品の積極的な購入に努めた。
-----------	-------------------------------------

化学物質の適正管理

化学物質の適正管理	化学物質の使用はなかった。
-----------	---------------

達成 状況	○ 達成できた	× 達成できなかった	— 判定できない、該当しない
----------	---------	------------	----------------

また、以下の項目についても【努力目標】とし、環境経営計画に沿って実施する

- ・一般廃棄物の削減
- ・現場使用水の削減
- ・地域貢献活動の実施：現場周辺での環境美化への貢献

6. 環境経営計画及びその取組結果と評価 【建設現場】

6.1 環境経営計画及びその取組結果と評価 期間：2023/10～2024/9 評価日：10月7日

	活動項目	取組評価	判定
数 値 目 標	電気の節約 2.0%削減		
	・現場事務所を使用しない時は必ず消灯する。 ・その他電気の契約をしたときは節電を心掛ける。	現場事務所を借りたときは、必ず節電を心掛けた。	Good!
	ガソリン・軽油の節約 2.0%削減		
	・作業停車時にエンジンを切る ・車両の効率運転を心がける	燃費に気をつけながら運転を行った。	Good!
	建設廃棄物のリサイクル率95%確保		
	・マニフェストの管理の徹底 ・廃棄物分別の徹底	適切な処理がなされており、特に問題なかった。	Good!
	建設発生土のリサイクル率95%確保		
	・搬出伝票の管理の徹底 ・月単位での集計の徹底	適宜適切処理がなされており、問題はなかった。	Good!
	低騒音・低振動・排出ガス対策型の機械使用率100%		
	・低騒音、低振動型の機械の使用 ・排出ガス対策型の機械の使用	機械のレンタルをする時は環境配慮型機種を選択している。	Good!
努 力 目 標	グリーン資材の調達の促進 再生資材調達の促進		
	・設計仕様外でも対象製品を選ぶ ・取引先での情報収集を行う	環境に優しい商品を購入し、少しでも環境保護に役立てるようにした。	Good!
	化学物質の適正管理（塗料等）		
	・対象商品であるかの確認を行う ・対象品である場合SDS管理を行う	現場での使用はなかった。	Good!
	一般廃棄物排出量の削減 廃棄物の分別収集		
	・廃棄物の分別を細かく行う ・現場に収集ボックスを設置する	できる限り現場からゴミを持ち帰り、会社で分別して処理した。	Good!
	水使用量の削減 現場利用水の節約		
	・上水使用の場合の節水 ・河川水使用の場合の節水	節水を意識して水の無駄遣いをなくすように心掛けた。	Good!
	地域貢献活動の実施 環境美化への貢献		
	・現場周辺のゴミ拾い、清掃を行う ・公共機関等の環境活動への協力	現場作業終了後にゴミ拾いを心掛け、清掃を行った。	Good!



環境コミュニケーション

社員全員がエコ意識を高めるために定期的な話し合いを行い意見交換しています。目標意識を維持し続けたい。

一人一花運動に参加 (福岡市が提唱)

地域住民の皆様が笑顔が増えるように季節の花を植えています。



熱中症対策

汗をたくさんかいた後、疲れを感じた時に必ず摂取して熱中症対策してます。

低騒音・低振動型重機

環境に配慮した重機を使用しています。



7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無【事務所・建設現場】

当社の事業活動に適用される法規等

法規等の名称	内容・基準等	遵守状況
建設リサイクル法	建設廃棄物4品目の分別と再資源化	○
廃棄物処理法	収集運搬に関するマニフェストの適正処理	○
	前年度マニフェスト交付状況の知事(市長)への報告	○
	多量排出事業者(年間1,000t以上)の産業廃棄物処理計画書の知事(市長)への提出	—
自動車リサイクル法	使用済み自動車の引渡義務	—
オフロード法	特殊自動車の使用の制限	○
騒音規制法	建設現場での機械使用時に適用	○
振動規制法	建設現場での機械使用時に適用	○

*環境関連法規の違反並びに関係機関からの指摘及び地域からの苦情などはありません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果【事務所・建設現場】

1. 全体評価

1)環境経営方針

・事務所、建設現場とも環境経営方針に沿った取組が実施されていた。

2)環境経営目標

事務所：

二酸化炭素排出量は前年と比較して増加傾向にあり、設定した削減目標を達成できていない状況である。主な原因として、電力使用量の増加が挙げられ、特にエアコンの使用が大きな要因となった。今後はエアコンの効率的な運用を見直し、省エネ型設備への切り替えや使用時間、温度の管理を行うとともに社員への省エネ意識の向上を図りたい。また、グリーン購入、地域貢献活動、一般廃棄物削減の努力目標については目標を達成できた。2025年度に新たな目標を設定し、取組を強化していきたい。

現場：

二酸化炭素排出量は前年と比較し大幅に増加し、特に軽油使用量が増加した。現場での機械や車両使用に伴うエネルギー商品が排出量の大幅な増加につながった。今後は燃費の良い機械や車両の導入を更に検討し、稼働時間を必要最低限に抑えるために、効率の良い作業計画を立てていきたい。現場全体でエネルギー削減に向けた意識を高めていきたい。

2. 全体見直し

事務所及び現場において全体的な二酸化炭素排出量削減の目標が未達成となっている。事務所では、電力使用量が増加したが、照明・エアコン・OA機器の省エネ設定やペーパーレス化を推進し、印刷関連のエネルギー消費を削減したい。現場では燃費効率の高い機材の導入、軽油・ガソリンの使用量削減を図り、削減努力を行ってきたい。努力目標についてもグリーン資材の調達促進に引き続き努力をしていきたい。全体一丸となってこれらの対策を実施し、持続可能な目標達成に向けて引き続き取り組んでいきたい。また、2024年度が5ヶ年計画の最終年に当たるが、見直しなしの現行の目標値での取り組みを行い、2025年度で新たな目標値を設定したい。

9. 次年度の環境経営目標と環境経営計画

<事務所>

事務所：3.1(環境経営目標)、4.1(環境経営活動の取組結果の評価)に従って、継続して実施する。

電力の二酸化炭素排出係数は、0.347kg-CO₂/kWh(九州電力2018年度調整後排出係数)を使用

2024年度 環境経営目標		
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	水使用量の削減
2019年度実績	2019年度実績	2019年度実績
1,320 kg-CO ₂	3,805kWh	7.1 m ³
2.5%削減	2.5%削減	2.5%削減
1,287 kg-CO ₂	3,710kWh	6.92 m ³

2024年度環境経営計画
電気・水の使用量・削減の為の取組を項目分けし、実施状況の確認・評価を行う。 具体的には、「4. 環境経営計画及びその取組結果と評価【事務所】」の活動項目に記載の取組事項を実施する。

* グリーン調達の促進、地域貢献活動の実施、一般廃棄物排出量の削減については、引き続き努力目標とする。

<建設現場>

建設現場：5.1(環境経営目標)6.1(環境経営活動の取組結果の評価)に従って、継続して実施する。

電力の二酸化炭素排出係数は、0.347kg-CO₂/kWh(九州電力2018年度調整後排出係数)を使用

2024年度 環境経営目標	基準値 2019年度実績	基準年実績 2.5%削減
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	15,366	14,982
電気使用量の削減(kWh)	193	188
ガソリン使用量の削減(ℓ)	1,371	1,337
軽油使用量の削減(ℓ)	4,697	4,580

建設廃棄物のリサイクル率	95%
建設発生土のリサイクル率	95%
騒音・振動・排ガスの低減(機械使用率)	100%

2024年度環境経営計画
電気・ガソリン・軽油の使用量・排出量削減の為の取組を項目分けし、実施状況の確認・評価を行う。 具体的には、「6. 環境経営計画及びその取組結果と評価【建設現場】」の活動項目に記載の取組事項を実施する。

* グリーン調達の促進については、引き続き努力目標とする。

* 環境経営目標では売上高当たりの原単位目標を設定しているがここでは絶対値で目標を示している。